全国学童保育連絡協議会

日本の学童ほいく 普及拡大ニュース

みんなで読もう！ 目標 3万4000部

子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。みんなで読んで、語って、楽しみながら、よりよい学童保育をつくっていきましょう。

2023年4月7日

元気が出るみんなの取り組みをご紹介

楽しく普及拡大

ほいく誌で学ぼう会をきっかけに楽しい交流を！

ほいく誌の購読を研修につなげる取り組み！

鹿児島県の取り組み

復活！　ほいく誌で学ぼう会

鹿児島県本土のほぼ中央部にある霧島市は、鹿児島市に次いで２番目に人口の多い市です。コロナ禍以前、霧島市の指導員会では毎月持ち回りで係を決めて「ほいく誌で学ぼう会」（以下「学ぼう会」）という研修会を行っていました。

具体的なすすめかたは次のとおりです。①あらかじめ決められた当番の学童保育がその月のほいく誌のなかで取り上げるページを決める。②取り上げるページを各学童保育に伝える。③各学童保育は指定されたページを読んでくる。④研修会当日、当番の学童保育がそのページを読み、書かれてあることのなかから問題提起をし、グループ（５～６名）に分かれて話しあう。⑤最後にグループごとに出た意見を発表します。

この「学ぼう会」を通して、ほかの学童保育の取り組みを学んだり、子どもとの関わり方について先輩指導員からアドバイスをいただいたりすることができました。また、以前は公的な場所はもちろん、当番学童保育にみんなでお邪魔して、物の配置、掲示物などを見学させていただいたりもしました。また、ほいく誌に載っていたおやつづくりの実習もしました。霧島市の指導員会は「１人１冊全員購読」を目標に研修を重ねてきたかいもあり、県内では購読数が最も多くなっています。また2023年５月から「学ぼう会」を復活するのがとても楽しみです。

広げよう！　普及拡大の取り組み！！

県全体の取り組みとしては、年４回の資質向上研修会や県連の定期研修会の折にバックナンバーと購読申し込みのチラシを会場の後ろに並べてＰＲをしています。研修会のなかで「学びつづけるために、ほいく誌を活用しましょう」と呼びかけもしますが、実際に、読むことと研修とをつなげる方法がわからず、「読まないので」と購読をやめる人もいます。

そこで、県連の新年度研修会の分科会で、「ほいく誌で学ぼう会」を行うことにしました。霧島市で取り組んでいるような研修会を実際に体験してもらい、地域に持ち帰り、ほいく誌を活用することで普及拡大につなげていければと考えています。

日本の学童ほいく４月号

特集　春 仲間を迎える学童保育

４月、新たな生活がはじまります。
今回の特集では、「学童保育での生活の様子」「保護者・指導員の思いや願い」の交流をとおして、学童保育の役割や大切にしたいことをたしかめあいます。

日本の学童ほいく
みんなで読もう目標 3万4000部
子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。

全国学童保育連絡協議会
普及拡大ニュース
2023年4月7日

読者の声

鳥取県鳥取市●指導員から

子どもたちは石が大好き。ある日、２年生の男の子が帰ってくると同時に「○○（私のこと）、タブレット貸して」と。「なにに使う？」と尋ねると、「この宝石、いくらか調べる」と、家の庭から拾ってきた石英（？）の入った石を手に、期待いっぱいの顔です。

検索すると、５万円から10万円の値のついた画像が出てきました。

「やったー、5万円だって」と大よろこびです。「でも、洗って磨いたほうがいいと思うよ」「わかった」。みんなに自慢げに見せていました。さて、それ以降なんの報告もありません。お母さんの指輪になっているのでしょうか？

（『日本の学童ほいく』2023年４月号「読者のひろば」より）

山形県山形市●指導員から

土曜日保育のお昼ご飯のときの出来事。

たまたま隣に座った男の子が、お弁当を出して「今日は量が多いな」と一言。彼のお弁当をのぞいてみると、おにぎりが二つと、おかずの入ったお弁当箱が一つ。彩り豊かなおかずの数々が、お弁当箱いっぱいに詰められていた。

そのなかでも卵焼きがひときわおいしそうに輝いていて、「お母さんのつくってくれた卵焼き、おいしそうだね」と声をかけると、うれしそうににっこり微笑んで「うん」とうなずき、黙々とお弁当を食べはじめた。

はじめは「多い」と言っていたが、食べはじめると十数分ですべて食べ終えていた。もちろん、お弁当のしめはお母さんの卵焼き。おいしそうに味わって食べており、見ている私もうれしくなった出来事であった。

（『日本の学童ほいく』2023年4月号「読者のひろば」より）

私と「ほ・い・く・誌」

読者リレー執筆・今月は栃木県那須塩原市から保護者OBの国府田恵美子さん

二人の娘がいる、シングル母さんになって出会った学童保育。

離婚してからというもの、仕事が変わる、小学校に入学する、学童保育に入る、などなど、めまぐるしく変化する生活。働きながらの、しかもシングル母さんの子育てなので、余裕はまったくなし。

入った学童保育では、子どもが小学１年生のときには「ほいく誌を全員購読する」という決まりがありました。でも、忙しいのを理由に、漫画を中心にパラパラとめくるだけ。正直なところ、２年生になったらやめようと思っていました。するとあるとき、指導員さんから、「仕事でも子どもを相手にしているんだし、シングルだからこそ読んでほしい」と、かなり強力にすすめられました。その揺るがない態度に感じるものがあり、購読を続けることにしました。

学童保育でも、保護者会のときに必ず使うほいく誌。指導員さんの熱い思いと、ほいく誌と頻繁に接点があることで、どんどん親しみを感じるようになっていきました。そうやってほいく誌を読むことで、全国でがんばっている保護者の姿を知り、知らないうちに元気をもらうようになっていました。

子育てって、【心の支え】がものすごく必要なときがあります。そんなとき『ほいく誌』が私の心の支えになり、ずいぶん助けられました。あのとき、すすめてくれた指導員さんに、心から感謝しています。ほいく誌をぜひ保護者にすすめてあげてほしいです。
私のように救われる保護者がいると思います。

編集・発行 全国学童保育連絡協議会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13 TEL●03-3813-0477 FAX●03-3813-0765
E-mail●zghrk@xui.biglobe.ne.jp http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou